

剣道競技要項

期 日	令和7年7月5日（土）・6日（日）		
会 場	鈴鹿市立武道館 住所：〒510-0231 三重県鈴鹿市江島台二丁目 6-1 電話：059-388-0622		
開始時刻	前日（金）	15時00分	監督者会議
	1日目	9時00分	審判・監督者会議
		9時30分	開会式
		10時00分	試合
	2日目	9時00分	試合
閉会式	競技終了後		
競技規則	全日本剣道連盟 試合・審判規則ならびに試合・審判細則による。		

注意事項

- (1) 選手は前垂に校名及び姓を明記した布製の名札をつけること。
- (2) 男子の竹刀は、4年生以上では長さ120cm以下、重さ510g以上とし、3年生以下では長さ117cm以下、重さ480g以上とする。
いずれも太さは先端部を26mm以上、ちくとう部を21mm以上とし、先革長は5cm以上とする。
- (3) 女子の竹刀は、4年生以上では長さ120cm以下、重さ440g以上とし、3年生以下では長さ117cm以下、重さ420g以上とする。
いずれも太さは先端部を25mm以上、ちくとう部を20mm以上とし、先革長は5cm以上とする。
- (4) 選手は公益財団法人全日本剣道連盟の関連団体である各県剣道連盟に登録している者とする。
- (5) 大会中の怪我については、各校で対応すること。

I 全国高専大会予選

1 団体の部

1. 1 男子団体の部

チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内、計10名以内

競技方法

- (1) 出場チームによるリーグ戦とする。
- (2) 各5名による勝者数法で試合時間は4分とする。
- (3) 試合は3本勝負とし、2本先取した者を勝ちとする。ただし、制限時間内に一方だけが1本を取ったときは、これを勝ちとする。制限時間内に勝負が決まらないときは、延長戦は2分1回だけとし、先に1本取った者を勝ちとする。さらに勝負の決しないときは引き分けとする。
- (4) 試合オーダー提出は各試合10分前とする。ただし、引き続き試合を行うチームは次の試合開始前でもよい。オーダーの提出のないときは前試合と同じオーダーで試合しなければならない。オーダー提出後の変更は認めない。
- (5) チームの勝敗は勝者数の多いものを勝ちとする。勝者数同数の場合は取得本数の多い方を勝ちとする。取得本数も同数の場合は引き分けとする。
- (6) リーグ戦の順位の設定は、勝ちを1点、引き分けを0.5点とし、点数の多いチームを上位とする。ただし、同点数の場合は、勝者数の多い方を、勝者数も同数の場合

は取得本数の多い方を上位とする。これにより順位が決定しないときは、代表者戦を行う。代表者戦は1回4分1本勝負とし延長戦は時間を区切らず勝敗が決するまで行う。3チーム以上で代表者戦を行う場合は、代表者によるリーグ戦を行う。その試合順序はリーグ戦の順序に従うこととする。

表 彰 1位に優勝杯を、1位、2位に賞状を授与する。

そ の 他 優勝校は第60回全国高等専門学校体育大会への出場権を得る。

1. 2 女子団体の部

チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以内（試合出場3名）、計8名以内

競技方法

- (1) 出場チームによるリーグ戦またはトーナメント戦とする。
- (2) 各3名による勝者数法で試合時間は4分とし、勝敗が決まらないときは引き分けとする。
- (3) 勝敗の決定ならびにリーグ戦の順位の決定方法、その他は男子団体の部（全国高専大会予選）に準ずる。

表 彰 1位に優勝杯、1位、2位に賞状を授与する。

そ の 他 第60回全国高等専門学校体育大会への出場権を得るチームは剣道競技専門部が定める出場校数をもとに監督者会議により決定する。

2 個人の部

2. 1 男子個人の部

出場人員 監督1名、選手8名以内、計9名以内

競技方法

- (1) 試合はトーナメント戦、決勝リーグ戦とする。
- (2) 試合は4分3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行う。ただし、延長戦は1本勝負とし、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。
- (3) 準決勝進出者4名で1位、2位、3位、4位の決勝リーグ戦を行う。リーグ戦は延長2分（1回）とし、勝敗が決まらないときは引き分けとする。
- (4) その他は男子団体の部（全国高専大会予選）に準ずる。

表 彰 1位、2位、3位に賞状を授与する。

そ の 他

- (1) 1位、2位は、第60回全国高等専門学校体育大会（個人の部）への出場権を得る。
- (2) 出場選手が8名に満たない参加校は、欠場枠が特定のブロックに偏らないように欠場者の申込番号を分散させることとする。

2. 2 女子個人の部

出場人員 監督1名、選手5名、計6名以内

競技方法

- (1) 試合はトーナメント戦、決勝リーグ戦とする。
- (2) 勝敗の決定については男子個人の部に準ずる。

表 彰 1位、2位、3位に賞状を授与する。

そ の 他 第60回全国高等専門学校体育大会（個人の部）への出場権を得る選手は剣道競技専門部が定める出場人数をもとに監督者会議により決定する。

Ⅱ 男子団体の部（勝抜）

チーム人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手8名以内（試合出場5名）、計11名以内

競技方法

- （1）出場チームによるリーグ戦とする。
- （2）試合時間は3分とし、制限時間内に勝敗が決まらないときは引き分けとする。
ただし、大将同士の場合は、引き分けはなく、時間を区切らず勝敗が決するまで行う。
- （3）リーグ戦の順位の決定は、勝ちを1点とし、点数の多いチームを上位とする。
ただし、同点数の場合は、残者数の多い方を、残者数が同数の場合は取得本数の多い方を上位とする。
- （4）その他は団体の部（全国高専大会予選）に準ずる。

表 彰 1位、2位に賞状を授与する。